

えほんのおへや通信



2011年1月1日(土)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。お正月の過ごし方は時代とともに変わってきましたが、気持ちは変わりません。今年はどうな一年になるでしょう。お子さんの一年の成長は大きいです。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」1月号の紹介。

こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き

「おいちののだーるまん」

こばやしえみこ文 / こいでやすこ絵 / 小淵もも絵

「おいちののだーるまん」のかけ声に、赤いだるまん、緑のだるまん、黄色のだるまん…と、カラフルな5人のだるまんが登場して、元気いっぱい遊びます。



こどものとも 年少版 2～4歳向き

「いも しょって」

井上洋介 絵と文

おじいさんが大きなさつまいもを買いました。重いおもを背中にしょってひと休みしていると、自転車に乗った女の子に会いました。おもに補助輪をつけてもらってゴロゴロ引いていくと、今度は……。



こどものとも 年中向き 4～5歳向き

「コマツグミのむねは なぜあかい」

～北アメリカ・チペワの人たちの民話～

大塚勇三再話 / 羽根節子画

昔、北の国に、人間や動物が体を温めたり料理をするために大切に守ってきた、たったひとつの焚き火がありました。その焚き火を、暖かいものは何でも嫌いな白クマが踏み消そうとします。その危機を救ったのは……



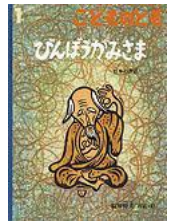
こどものとも 5～6歳向き

「びんぼうがみさま」

～日本の昔話～

福知伸夫再話・絵

あるところに、貧乏な夫婦がいた。どんなに働いてもなかなかお金がたまらない。大晦日に家の掃除をしていると、押し入れの中に小さなじいさまがいた。貧乏神様だった。ところが……。



ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き

「ごろん ごろん ねんどマン」

おかいみほ作

ねんどをころころ転がして、まあるいおだんごのできあがり。ギュッ、ギュッとげんこつで押したら、おだんごに顔がついたよ。こんにちは、ねんどマン！



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「もうすぐおしょうがつ」

西村繁男 作

冬休み、おじいさん、おばあさんの家でお正月を迎える、ある家族のおはなしです。こまごまとした準備の様子、お正月を心待ちにしている家族の様子が楽しく描かれています。



3歳から

福音館書店

「くものむこうになにがいる？」

田中てるみ/作 おぎえみ/絵

雲の陰に、きりんの首が見えています。ページをめくると、そこには「そらとぶきりん」が。想像力ふくらむ、型抜き絵本です。



0歳から

アリス館

【雑感】 お正月といえばカルタ、語源はポルトガル語ですが、同様の遊びはヨーロッパからもたらされる前からあったものと考えられています。平安時代の二枚貝の貝殻をあわせる遊び「貝合せ」があります。これとヨーロッパ由来のカードゲームが融合し、元禄時代頃に今日の遊び方となったそうです。保育園ではお正月に限らず遊んでいる遊びで、文字を覚えるのに役立っています。

